

「石川木造応急仮設住宅に学ぶ工務店像」

2016年熊本地震、2020年熊本豪雨災害、そして2024年の能登半島地震・・・。

今回、木造応急仮設住宅の現場を(一社)全国木造事業建設協会 建設統括本部長として3度も陣頭指揮された株式会社エバーフィールドの久原英司氏を特別講師にお招きします。

「工務店とは」をテーマに、被災地での緊迫した状況を振り返りながら、地域密着型の工務店が果たすべき真の役割や工務店の持つ可能性についてお話を伺います。被災地の厳しい現場経験から見てきた行政と地域連携の重要性、スピードが求められる仮設住宅の本質的な価値、そして工務店が多角的な視点でどのように地域に根差し支援していくか。その答えを、久原氏の実践事例を基にお聞きする大変貴重な機会となります。

そして、毎年大好評の新建新聞社・三浦祐成氏による「住宅産業大予測2025速報版」では、低迷する建築業界の突破口となるヒントを最新のデータとともにご紹介。

さらに今回、特別企画として座談会を2本用意。編集者の大菅力氏が、仮設現場の経験者に鋭く切り込みリアルな本音を引き出す座談会も開催。木造応急仮設住宅建設の舞台裏から、普段は語られないエピソードに学びます。

また、三浦氏により仮設現場に社員を送り出す経営者側から、これからの地域工務店像について改めて考えます。業界の最前線に触れ、実践に役立つ知識を手に入れる、志を同じくする仲間たちとともに刺激を受ける絶好の機会、ぜひご参加ください。

DECOS DRY 主催:JCA 日本セルロースファイバー断熱施工協会・(株)デコス



(株)エバーフィールド
久原英司氏

JCA・デコスセミナー2024 「石川木造応急仮設住宅に学ぶ工務店像」

■日時 2024年12月6日(金) 13:30~17:00(開場13:00)

■開催方法 YouTube Live ※JCAメンバーのみリアル開催あり・神田CIVI貸会議室

■タイムスケジュール

13:30 ~ 13:35(5)	はじめに	(株)デコス	(敬称略) 石松 孝浩
13:35 ~ 13:40(5)	ごあいさつ	JCA会長	安成 信次
13:40 ~ 14:25(45)	特別講演①「工務店とは」	(株)エバーフィールド	久原 英司
14:25 ~ 15:10(45)	特別講演②「住宅産業大予測2025 速報版」	(株)新建新聞社	三浦 祐成
15:10 ~ 15:25(15)	休憩		
15:25 ~ 16:10(45)	座談会①「石川木造応急仮設住宅からの学び」	コーディネーター (株)安成工務店 (株)デコス	大菅 力 磯部 隆昭 竹之内 貴浩 賀村 祐太
16:10 ~ 16:55(45)	座談会②「これからの工務店像」	(株)プラスワークス コーディネーター 大野建設(株) (株)エバーフィールド (株)安成工務店 編集者・ライター (株)デコス	竹内 邦倫 三浦 祐成 大野 年司 久原 英司 安成 信次 大菅 力 石松 孝浩
16:55 ~ 17:00(5)	おわりに		

■参加費 無料(要事前登録)

■参加申込 下記URL、もしくはQRコードより、必要事項をご記入の上お申込みください。

<https://www.cf-eco.jp/webseminar202412/>

■参加締切 12/4(水)17:00 受付確認後、後日視聴URLをメールにてお送りいたします。



「くまもとの力」、石川へ

能登半島地震で木造応急仮設住宅「熊本モデル」建設
8団地9現場623戸にデコスファイバー採用



より快適で安心できる住まいを全国運搬で施工
被災者にゆとりを「熊本モデル」

能登半島地震では災害救助法が適用され、被災者支援として応急仮設住宅が6772戸建設された。(R6.8.27現在)

その中で石川県は、里山里海景観に配慮した新たな町を整備する「まちづくり型応急仮設住宅」に、全国木造建設業協会(全木協)が熊本地震(2016年)や熊本豪雨災害(2020年)に建設した「熊本モデル」を採用。

輪島市と珠洲市で、全8団地9現場623戸が整備された。

「熊本モデル」は、避難生活の長期化を想定し性能向上を図り、高い居住性で安心して安全を確保する。

その断熱性能等級は、Ua値0.53~0.55で、5地域の等級5であり、またバリアフリー仕様となっている。

入居期間終了後も公営団地に転用、恒久的な活用を図る。

また、全木協「熊本モデル」では、熊本の木造応急仮設住宅に採用実績があり、入居者から評価も高いセルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」が3度採用された。

その採用累計は、17700戸に達している。

災害時の緊急対応として、デコス(山口県下関市)が開発する「エコスドライ」工法施工代理店の施工技術者が断熱施工を担当し、全国運搬の強みを活かした。

同社が施工を請け負うことで、大工の作業負担軽減と大工不足の対策となり、迅速な完成を目指した。

能登半島は、寒さが厳しく、湿度が高い地域。

少しでも快適な居住環境のため、高い断熱性能を確保しながら夏涼しい調湿性が高く吸音性を発揮する「デコスファイバー」を標準採用している。

「くまもとの力」、石川へ

「くまもとの力」が、石川へ

熊本の仮設現場に届けられた心徳「くまもとの力」。

今回、石川でも「くまもとの力」施工古賀地区に「一切業務を許さず、かつ高断熱な仮設住宅」への取り組みが進められた。

能登半島地震の被災者支援のため、新たに「くまもとの力」を「くまもとの力」に採用する。

地域工務店同士が力を合わせ、より快適で安心できる住まいを提供するために、被災者の生活再建に貢献。

「くまもとの力」から「石川の力」へ。
全国の工務店の絆を結んで被災地の復興を支援している。



被災された方々の一日も早い生活再建、能登半島の復興をお祈りしております。

